

氏青通信

発行責任者
飯坂八幡神社
氏子青年会
梅津庸二

氏子青年会第五回総会 盛大に開催される!

桜満開の去る四月十一日、氏子青年会の第五回通常総会が、「吉野館」にて午後六時三十分より開催されました。

平成十八年度の事業報告・収支決算並びに平成十九年度の事業計画案と収支予算案について審議され、意義なく満場一致で承認されました。

また、役員及び会員卒業・役員の改選についても事務局案通り承認されました。卒業会員と新入会員及び新役員については、裏面に記載しました。

総会は、若干遅れて始まったのですが参加者の理解と協力によりスムーズに進行し、定刻通り終了しました。



総会の様子



メモをとる新聞記者

福島民報・福島民友の新聞記者も取材に来ており、会の運営等について一言も漏らさぬよう取材していました。

マスコミも!

福島民報・福島民友の



新旧会員 顔合わせ

総会終了後は、懇親会を開き、来賓をはじめ新旧会員二十三名の参加がありました。懇親会の席上、卒業会員を代表して前会長が、「会員の絶大な協力により、運営がうまく出来た」とことや、一つ一つの行事について思い出が多く、鼻声になりながらも挨拶を頂きました。

また、新役員を代表して会長が「今まで先輩方が培ってきた礎を基に、更なる飛躍して行くことを誓い、挨拶をしました。」



新旧会員の顔合わせ



卒業

懇親会の席上、卒業会
員の方たちに、新会長
より感謝状が一人一人
に手渡されました。
受け取った卒業会員は、
感無量のようでした。

感謝状を受ける卒業会員



新入会員

平成十八年度で十一
名の会員が卒業する



のに対し
新たに十
名の新規
会員の入
会が認め
られ、席
上入会証
として、

国旗掲揚セットと会員
証が手渡されました。



十名のうち
四名の方が
都合により
欠席でした
が、出席さ
れた六名の
会員の方は
これまでの
会の運営に
のっとり、抱負や協力
を誓っています。

(写真掲載順不同)

よろしくおねがいます

添	蓬	角	清	斎	末	古	橋	塚	一
田	田	田	野	藤	永	山	本	原	条
真	孝	賢	雅	孝	洋	ハ	圭	一	年
人	一	二	美	裕	一	ト	介	嘉	広

新入会員

(順不同、敬称略)

ありがとうございました

佐	磯	岩	安	斎	澤	今	佐	鶴	今	斎
藤	崎	崎	斎	藤	田	野	藤	川	野	藤
吉	明	福	忠	正	和	篤	吉	光	隆	夫
昭	夫	一	作	道	彦	一	則	雄	夫	夫

卒業会員

(順不同、敬称略)

新役員も頑張ります



会	長	梅津	庸二	新任			
副	会	長	佐藤	裕美	留任		
副	会	長	小野	寺一	新任		
事	務	局	長	遠藤	直道	新任	
事	務	局	次	長(庶務)	河野	淳一	新任
事	務	局	(会	計)	平野	茂	留任
事	務	局	(広	報)	三浦	邦義	新任
監	事	佐藤	秀一	新任			
理	事	山崎	丹治	新任			
理	事	紺野	慶吉	新任			
理	事	黒澤	純一	留任			
理	事	間	淳志	留任			
理	事	阿部	喜之	新任			
理	事	横山	清重	新任			
理	事	島貫	眞一	留任			
理	事	岩崎	仁	留任			
理	事	菅野	雄輝	新任			



鎮守の森から

世界の国々では、その国の伝
統や文化、歴史に由来した日
を祝日として定めています。
日本の祝日も古来の伝統や
歴史を伝える大切な日です。
現在「国民の祝日」は一年に
十五日あります。それぞれの
祝日が持つ意味やメッセージ
をあらためて考えながら、国
旗を掲げて家族みんなでお
祝いしましょう。

国旗を門前や玄関に掲げる
ときは、家の外から見て左側
に掲げます。また、国旗はお
よそ日の出から日没まで掲
げます。雨天のときは掲げま
せん。

編集後記

今回の紙面は、総会が中心となつて
しまい、今年度の主な事業を掲載で
きなく申し訳なく思います。
追って随時連絡させていただきます。
また、この通信は予算の都合上白黒
で配布いたしておりますが、神社の
ホームページにはカラーで掲載させて
頂いております。

たまにはパソコンや携帯からアクセス
してみてください。
<http://hachimanjia.jp/infoseek.co.jp/>
「けんか祭り」の検索

